

- 問1 701年に制定され、唐の制度を模範として天皇を中心とした中央集権的な政治体制の基礎を確立した法典は何ですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 大宝律令
 2. 十七条の憲法
 3. 養老律令
 4. 御成敗式目
- 問2 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は、仏教や儒教の教えを取り入れた「十七条の憲法」を制定しました。この法が制定された主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 天皇の命令に従うことなど、政治に関わる役人の自覚を促し、国家の体制を整えるため
 2. 遣隋使の派遣を中止し、日本独自の国風文化を発展させるための指針とするため
 3. 最澄や空海が中国から持ち帰った新しい仏教を広め、地方の豪族を統制するため
 4. 大宝律令の内容を補い、農民に対して厳しい罰則を設けて年貢を確実に徴収するため
- 問3 7世紀に中国を統一し、律令と呼ばれる法体系に基づく統治制度を確立して、日本をはじめとする東アジア諸国の国づくりに決定的な影響を与えた帝国を選んでください。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 唐
 2. 隋
 3. 漢
 4. 宋
- 問4 大化の改新で示された「公地公民」の制度と、その後に作成された「庚午年籍（こうごねんじやく）」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 豪族による土地や人民の私有を禁じて国家の管理下におき、税を徴収するための基礎となる人民の把握を行うため
 2. 海外との交易を奨励し、特産品を輸出した利益を特定の有力農民に配分することで経済を活性化させるため
 3. 仏教の教えに基づいて全国に寺院を建立し、疫病や災害から国を守るための祈祷を役人に命じるため
 4. 各地の有力な豪族に対してのみ土地の所有権を認め、天皇の代わりに地方政治を分担させるため
- 問5 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したもので、天皇の命令（詔）に従うことや、仏教（三宝）を敬うことなど、役人としての心得を説いたものは何か。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 班田収授法
 2. 大宝律令
 3. 十七条の憲法
 4. 御成敗式目
- 問6 645年に起こった政治改革において、中臣鎌足（藤原鎌足）らとともに、権勢を振るっていた蘇我氏を倒し、後に天智天皇として即位した人物は誰ですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 大海人皇子
 2. 中大兄皇子
 3. 聖徳太子
 4. 足利尊氏
- 問7 古代日本の国家形成の過程において、天智天皇の後継をめぐる混乱を経て、中央集権的な統治が強化されたことを示す歴史上の出来事はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 保元の乱
 2. 壬申の乱
 3. 承久の乱
 4. 白村江の戦い
- 問8 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国（日本）は、大陸からの侵攻に備えて九州北部の防衛を強化しました。この際、軍事・行政の拠点であった大宰府を防御するために、その北側に築かれた大規模な土塁と水堀からなる防衛施設の名称を選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 環濠集落
 2. 水城
 3. 前方後円墳
 4. 板付遺跡
- 問9 663年に、日本（倭）が百済の復興を支援するために朝鮮半島へ出兵した際、唐と新羅の連合軍と戦って大敗した出来事を何といいますか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 文永の役
 2. 白村江の戦い
 3. 刀伊の入寇
 4. 壬申の乱
- 問10 日本の歴史における時代区分と出来事の前後関係について説明した文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。
 2. 奈良時代に豊臣秀吉が太閤検地を行い、その後、安土桃山時代に平清盛が政権を握った。
 3. 鎌倉時代に平清盛が幕府を開き、その後、安土桃山時代にフビライ・ハンによる元寇が起こった。
 4. 飛鳥時代にフビライ・ハンが来航し、その後、室町時代に平清盛が太政大臣に就任した。
- 問11 推古天皇が聖徳太子を「摂政」に登用して行った政治の説明として、当時の制度や目的をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 日本独自の国風文化を育てるため、聖徳太子に命じて遣隋使の派遣を停止し、大陸との交流を断った。
 2. 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。
 3. 平城京への遷都を円滑に進めるため、聖徳太子に新しい都の設計と建設の全権を委ねた。
 4. 武士の力を抑えるために聖徳太子を任命し、地方の反乱を鎮圧するための軍事指揮権を与えた。
- 問12 用明天皇の皇子であり、叔母にあたる推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力しながら政治を行った人物は誰か。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子
 2. 藤原不比等
 3. 大海人皇子
 4. 聖徳太子
- 問13 聖徳太子が「冠位十二階」を定めた目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 武士の忠誠心を高めるための階級制度を整え、大陸からの侵攻に備えた強力な軍事組織を構築するため。
 2. キリスト教の布教を制限し、仏教を唯一の国教として定めることで、民衆の思想を統一するため。
 3. 氏姓制度による世襲制の弊害を抑え、個人の能力や功績に応じて人材に登用することで天皇の権力を強めるため。
 4. 地方の有力な豪族に独自の徴税権を与えることで、中央政府の財政負担を軽減し、地方自治を促進するため。
- 問14 7世紀当時の朝鮮半島と日本の関係について述べた次の文のうち、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 唐と結んだ百済が日本へ侵攻してきたため、日本は新羅と協力して白村江でこれを防ぎ、国内の律令体制を強化した。
 2. 朝鮮半島の北部に位置する高句麗を救援するため、日本は新羅と結んで唐の軍勢を白村江で迎え撃ったが敗れた。
 3. 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。
 4. 朝鮮半島の南東部に位置する新羅からの要請に応じ、日本は加羅の地域を統治するために大軍を送ったが、元寇と呼ばれる事変で敗れた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大宝律令	唐の「律（刑罰規定）」と「令（行政規定）」を参考にして、日本で初めて本格的に整備された律令です。この法典の完成により、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則に基づいた律令国家の仕組みが形作られました。
問2	答え 1 天皇の命令に従うことなど、政治に関わる役人の自覚を促し、国家の体制を整えるため	聖徳太子は、豪族たちが権力を争っていた状況を改善し、天皇を中心とした中央集権国家を築くことを目指しました。そのため、役人（官吏）に対して「和を以て貴しとなす」という儒教的な協調精神や、仏教を深く敬うこと、天皇の詔（みことり）には必ず従うことといった、政治に携わる者としての道徳的な規範を示したのがこの法です。
問3	答え 1 唐	この帝国は、隋が短期間で滅びた後に中国を再統一し、約300年にわたって繁栄しました。日本は遣唐使を派遣して、その優れた政治制度や仏教文化、都市計画などを積極的に取り入れ、律令国家としての基盤を固めていきました。
問4	答え 1 豪族による土地や人民の私有を禁じて国家の管理下におき、税を徴収するための基礎となる人民の把握を行うため	公地公民は、それまで豪族が私有していた土地（田荘）や人民（部曲）を、天皇・国家が直接支配する体制へと変える方針です。これを実現するために、日本最古の全国的な戸籍とされる庚午年籍（670年）などが作成され、一人ひとりの人民を把握することで、租・庸・調といった税の徴収や兵役の割り当てが可能になりました。
問5	答え 3 十七条の憲法	この法令は604年に制定された。第一条で「和を以て貴しとなす」と述べ、話し合いによる解決を重視しているほか、天皇中心の政治を目指して役人の道徳的規範を示したものである。班田収授法は土地制度、律令は刑法・行政法、御成敗式目は鎌倉時代の武士の法律である。
問6	答え 2 中大兄皇子	唐（中国）の制度に習い、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指して行われた改革が大化の改新です。中大兄皇子は蘇我入鹿らを排除することで、有力豪族による政治から、天皇が直接統治する仕組みへと転換を図りました。
問7	答え 2 壬申の乱	天智天皇の弟である大海人皇子が、天智天皇の子である大友皇子を倒した672年の壬申の乱が正解です。この勝利によって大海人皇子は天武天皇として即位し、天皇の称号や「日本」という国号を使い始めるなど、律令国家としての骨組みを固めていきました。
問8	答え 2 水城	663年の白村江の戦いでの敗北後、天智天皇は唐や新羅による日本侵攻を強く警戒しました。大宰府という重要な拠点を守るため、平地を遮断するように巨大な堤防（土塁）を築き、そこに水を溜めて堀としたのが「水城」です。このほか、西日本の各地には朝鮮式山城と呼ばれる城も築かれ、国家的な防衛網が整備されました。
問9	答え 2 白村江の戦い	660年に滅亡した百済から救済を求められた中大兄皇子は、百済復興のために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、唐と新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗戦の結果、日本は朝鮮半島の権益を失い、国内の防衛体制を急いで整える必要に迫られました。
問10	答え 1 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。	平清盛は平安時代末期に太政大臣となり、大輪田泊を整備して日宋貿易を進めました。その後、鎌倉時代中期の13世紀後半に、元の皇帝フビライ・ハンによる元寇が起こりました。平清盛の政権獲得（平安時代末期）はフビライ・ハンの侵攻（鎌倉時代）よりも前の出来事となります。
問11	答え 2 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。	推古天皇の時代、有力豪族である蘇我氏の影響力が強い中で、天皇は聖徳太子を摂政に任命することで、血縁や家柄に依存しない官僚制（冠位十二階）などの導入を図りました。これは、特定の豪族に権力が集中するのを防ぎ、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くことが目的でした。
問12	答え 4 聖徳太子	推古天皇の時代に摂政という重要な役職に就き、豪族の蘇我馬子とともに改革を進めました。家柄に関係なく才能ある人物を登用する冠位十二階を定めるなど、天皇を中心とした国家体制の整備に尽力した人物です。
問13	答え 3 氏姓制度による世襲制の弊害を抑え、個人の能力や功績に応じて人材を登用することで天皇の権力を強めるため。	当時の日本は、有力な豪族が代々特定の官職を独占する氏姓制度が中心でした。聖徳太子は冠位十二階を導入することで、家柄に関わらず有能な人材を政府の中枢に集め、天皇による統治をより確実なものにしようと図りました。
問14	答え 3 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。	当時の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を伸ばしており、660年に南西部の百済を滅ぼしました。日本は百済の復興を支援するために戦いましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、朝鮮半島からの撤退を余儀なくされました。この国際的な危機感から、日本では天智天皇を中心に中央集権的な国家づくりが加速しました。